

## 令和3年度決算状況

町道A09号線道路整備事業が完了

新工業団地造成にあわせ

令和3年度一般会計および特別会計の決算が、9月議会で認定されました。一般会計・特別会計6会計を合わせた決算は、歳入総額が123億3,786万4千円(前年度対比△6.9%)、歳出総額は121億8,017万8千円(同△6.9%)となりました。歳入から歳出を差し引いた額は1億5,768万6千円となり、この額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は1億595万の黒字となりました。

## 〈一般会計〉

**歳入** 81億7,555万1千円

「町税」について、町民税は個人分、法人分ともに増収となり、前年度対比10.2%の増、固定資産税は5.1%の減、町たばこ税、入湯税は増額になったことから、町税全体では、2.1%、5,281万6千円の増収となりました。

「地方交付税」は、町が標準的な税収入見込み額をもって標準的な行政サービスや施設維持を行った場合の財源不足額を国から交付される制度で、普通交付税と特別交付税があります。3年度の普通交付税は、『町の標準的な行政運営を行うために必要な経費見込み』が増額算定されたことに加え、国の補正予算により、町の普通交付税の総額が増額となったことで、交付額は前年度対比34.0%の増、特別交付税においても増額となったことから、「地方交付税」全体では31.2%の増となりました。

「町債」は、道路改良事業、橋梁修繕事業、坂城小学校太陽光発電設備・蓄電池設備設置事業等に充てる借入で、28.4%の減、歳入全体では、前年度に比べ△9.2%、8億2,934万1千円の減額となりました。

**歳出** 80億8,939万円

3年度は、前年度策定の「坂城町第6次長期総合計画」に掲げた町の将来像「輝く未来を奏でるまち」の実現に向け各種事業を実施しました。性質別に見ると、「投資的経費」は、新工業団地造成にあわせて行った町道A09号線道路改良工事や橋梁修繕事業、小中学校特別教室等空調設備整備事業、坂城小学校太陽光発電設備・蓄電池設備設置事業などを実施し、総額では、前年度対比6.3%の減となりました。

「義務的経費」は、人件費が0.4%、公債費は4.3%減少しましたが、子育て世帯や住民税非課税世帯等を対象とした臨時特別給付金の支給等により扶助費は42.7%の増加となりました。

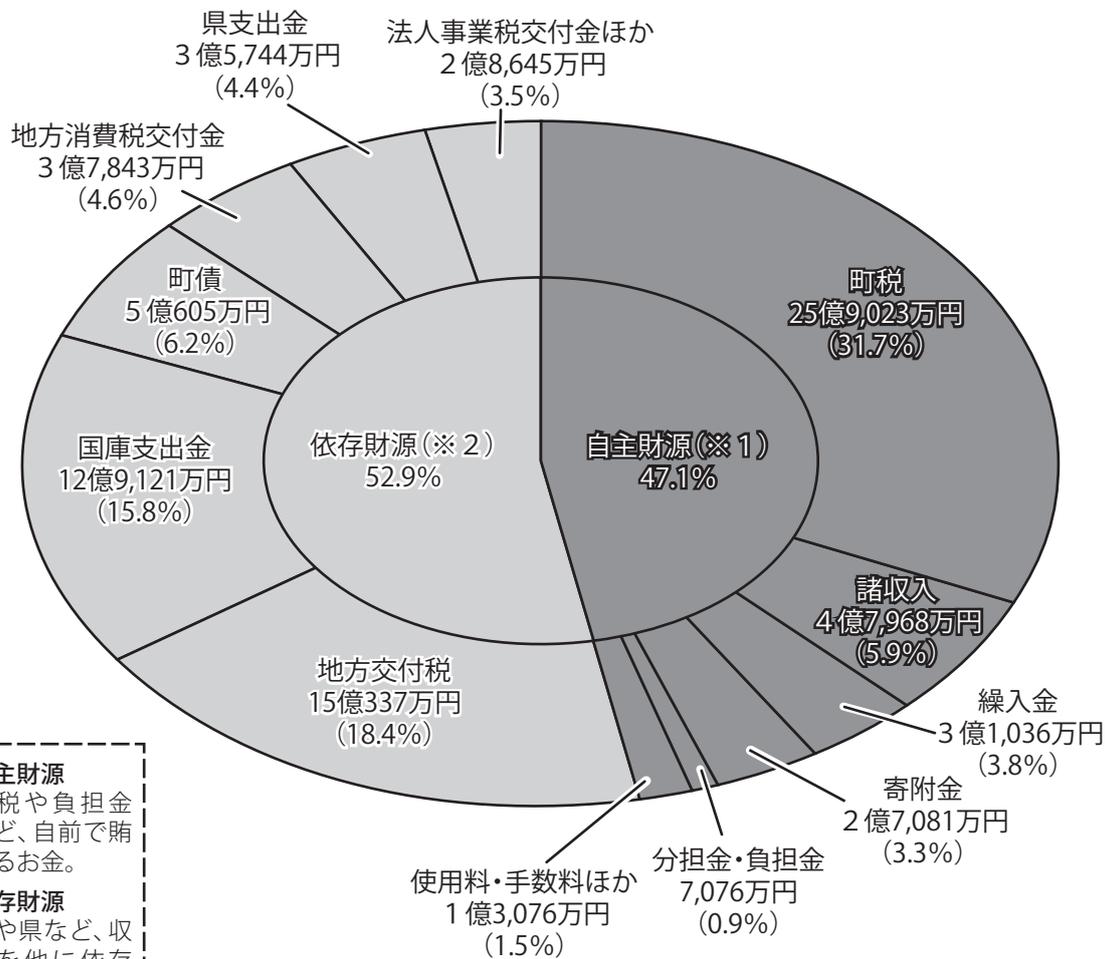
「その他経費」は、さかきのお店応援券事業やねずこん10周年スタンプラリー事業など、事業者や町民への新型コロナウイルス感染症拡大に対する支援策などを実施しましたが、前年度に実施した特別定額給付金事業の終了に伴い、補助費等が58.3%と大幅に減少し、歳出全体では、前年度に比べ△9.5%、8億4,753万3千円の減額となりました。

## 会計別決算額

(単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	8,175,551	8,089,390	86,161	
特別会計	4,162,313	4,090,788	71,525	
特別会計の内訳	国民健康保険	1,422,076	1,420,595	1,481
	工業地域開発事業	33,178	33,178	0
	下水道事業	1,079,778	1,047,228	32,550
	介護保険	1,395,699	1,358,282	37,417
	後期高齢者医療	231,582	231,505	77
合計	12,337,864	12,180,178	157,686	

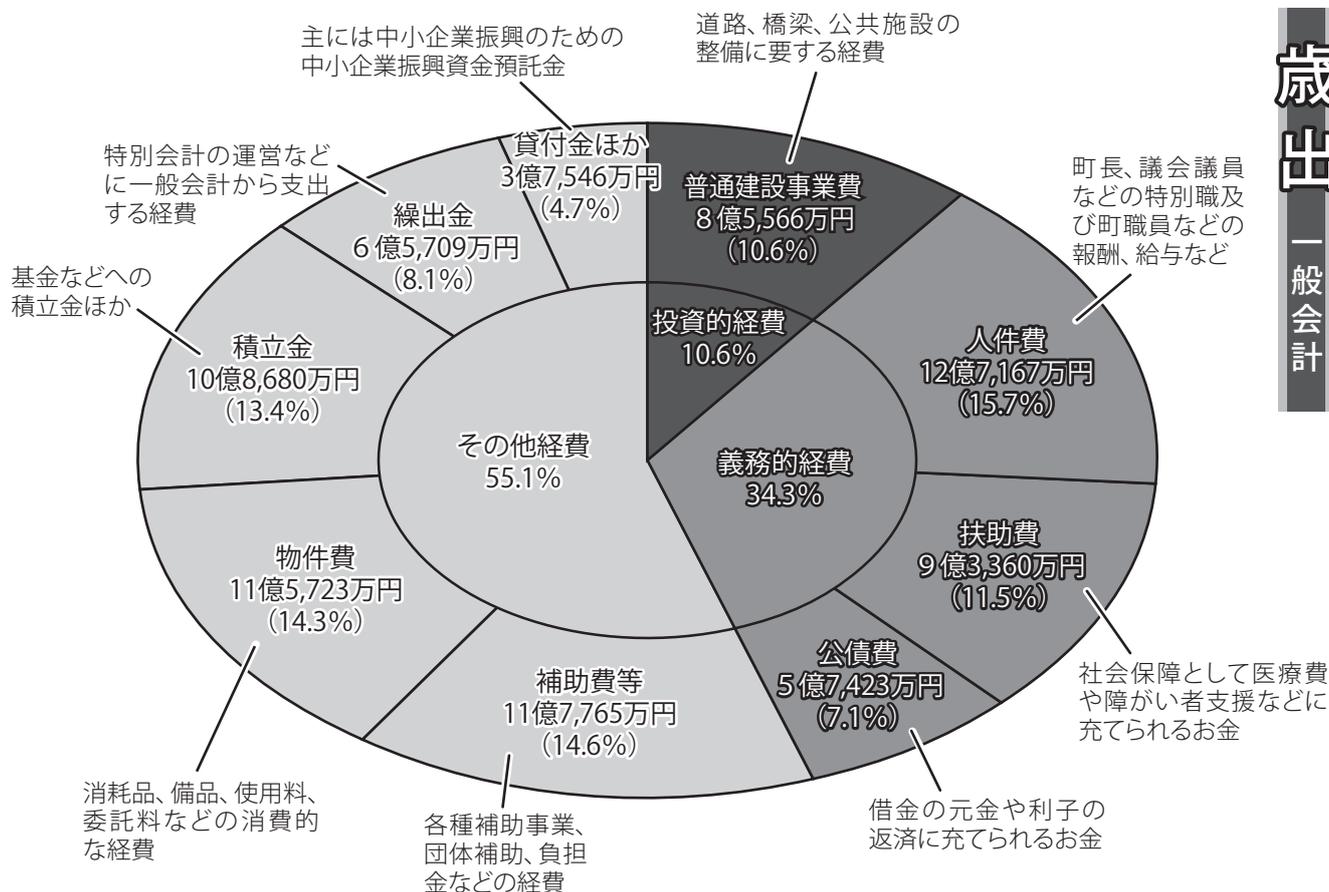
歳入  
一般会計



※1 自主財源  
町税や負担金など、自前で賄えるお金。

※2 依存財源  
国や県など、収入を他に依存するお金。

歳出  
一般会計



## 3年度の主な事業(単位:千円)

### 総務費 1,505,795 (歳出に占める割合:18.6%)

まちづくり推進事業(地域づくり活動支援ほか)……	271,232
温泉管理事業……	208,224
ふるさと納税事業……	126,707
住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業……	100,106
選挙費(参議院議員補欠、衆議院議員)……	21,570

### 民生費 2,123,188 (26.3%)

老人福祉事業(敬老祝、介護予防、特別会計繰出金ほか)……	454,710
心身障がい者等福祉事業(介護・訓練給付ほか)……	381,682
児童手当事業……	189,675
子育て世帯等臨時特別給付金給付事業……	191,839
保育園・子育て支援センター・児童館……	333,503

### 衛生費 580,740 (7.2%)

予防・健康増進事業(予防接種、各種検診)……	258,262
ごみ・し尿処理関係事業……	231,819
(長野広域連合、葛尾組合、千曲衛生施設組合負担金ほか)	

### 農林水産業費 197,262 (2.4%)

農業振興費……	32,971
(地域営農推進、有害鳥獣対策、さかきワイン文化推進事業ほか)	
農地費……	50,159
(農道等基盤整備、町単補助、多面的機能支払交付金事業)	
林業振興・林道事業費……	46,381
(松くい虫防除、町有林・林道管理)	

### 商工費 580,020 (7.2%)

中小企業対策事業(資金貸付預託金、保証料補給等)……	368,588
新型コロナウイルス緊急対策事業……	51,272
坂城テクノセンター支援事業……	44,149

### 土木費 1,037,802 (12.8%)

道路新設改良費(A01号線、A09号線ほか)……	255,105
橋梁新設改良費(橋梁修繕事業)……	220,340
下水道事業特別会計繰出金……	292,000
花と緑のまちづくり・公園管理事業……	63,563
(さかき千曲川バラ公園整備ほか)	
高速交通総務費……	55,485
(循環バス、鉄道軌道安全輸送設備整備等負担金)	

### 消防費 293,531 (3.6%)

常設消防費(千曲坂城消防組合負担金等)……	214,066
消防施設費……	46,157
(消防ポンプ自動車購入、消火栓工事負担金等)	

### 教育費 1,080,903 (13.4%)

私立幼稚園助成事業……	50,173
小中学校特別教室等空調設備整備事業……	112,763
GIGAスクール構想推進事業……	23,029
スマートエネルギー設備導入事業……	71,885
(坂城小太陽光パネル・蓄電池設備設置)	
小中学校費(学校管理、教育振興)……	138,302
図書館・公民館等運営事業……	39,695
文化財保護費(埋蔵文化財発掘調査、歴史館管理)……	10,616
生涯学習・保健体育関係事業……	14,383
食育・学校給食センター運営事業……	128,172

## 特別会計

地方公共団体が特定の事業を行う場合、一般の歳入歳出と区分して、特定の歳入と歳出により経理をする必要があるときに、条例で設置することができる会計を「特別会計」といいます。



#### ◆国民健康保険特別会計

決算額は14億2,059万5千円で、主に保険給付費や県への事業費納付金に対する支出を行い、前年度に比べ3,168万4千円(2.3%)の増となりました。

#### ◆介護保険特別会計

決算額は13億5,828万2千円で、主に保険給付費や地域支援事業費に対する支出を行い、前年度に比べ2,441万3千円(1.8%)の減となりました。

#### ◆工業地域開発事業特別会計

決算額は3,317万8千円で、工業団地の土地を坂城町土地開発公社から取得し、希望する企業に売却しました。

#### ◆下水道事業特別会計

決算額は10億4,722万8千円で、前年度に比べ8,922万2千円(7.9%)の減となりました。主に上五明・新地・鼠地区の整備を進め、3年度末の供用面積は587haで、下水道整備率は94%になりました。

#### ◆後期高齢者医療特別会計

決算額は2億3,150万5千円で、保険料の徴収や窓口業務を行い、前年度に比べ168万1千円(0.7%)の減となりました。

## 地方債現在高 (町の借入金)

区 分	3 年度末	2 年度末	増 減	増減率
一 般 会 計	63億9,439万円	64億4,583万円	△5,144万円	△0.8%
下水道事業特別会計	54億9,875万円	55億7,127万円	△7,252万円	△1.3%
合 計	118億9,314万円	120億1,710万円	△1億2,396万円	△1.0%

3年度の一般会計の新規の長期借入金は、道路改良事業及び橋梁修繕事業、坂城小学校太陽光発電設備・蓄電池設置整備事業などに係る地方債など5億605万3千円で前年度対比28.4%の減、また、長期借入金の償還額は、前年度対比4.3%減の5億7,422万7千円、一般会計の年度末現在高は前年度より5,144万円の減となり、下水道特別会計をあわせた町全体では1億2,396万円減少し、118億9,314万円となっています。

## 基金現在高 (町の積立金)

区 分	3 年度末	2 年度末	増 減	増減率
財 政 調 整 基 金	24億9,293万円	24億6,138万円	3,155万円	1.3%
減 債 基 金	7億2,921万円	7億2,728万円	193万円	0.3%
その他特定目的基金	30億1,691万円	22億4,816万円	7億6,875万円	34.2%
合 計	62億3,905万円	54億3,682万円	8億223万円	14.8%

(その他特定目的基金は、普通会計に属するもので、定額運用がなされる基金は含まれていません。)

3年度は、ごみ処理施設整備費負担金、小中学校特別教室等空調設備整備事業などに充当するため、広域行政事業基金や文教施設等整備基金などから取り崩しを行いました。

また、予算の状況等を見ながら積立てを行い、年度末現在高は、前年度より8億223万円増の62億3,905万円となりました。

## 財政健全化判断比率 ～一層の健全財政に～

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による、財政健全化判断比率5指標(下表のとおり)について、監査委員の審査、議会への報告と公表が義務付けられています。5つの指標のうち1つでも早期健全化基準を超えると、議会の議決を経て財政健全化計画を策定し、更に財政再生基準を超えると、議会の議決を経て財政再生計画を策定したうえで、国の指導下で財政再建を図ることになります。

3年度の町の指標はいずれも早期健全化基準を下回り、健全な状況で推移しています。

指 標	3 年度末	2 年度末	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率(%)	—	—	15	20
②連結実質赤字比率(%)	—	—	20	30
③実質公債費比率(%)	8.4	9.0	25	35
④将来負担比率(%)	—	—	350	
⑤資金不足比率(%)	—	—	(経営健全化基準) 20	

①・②・④は、黒字のため数値が入らないので「—」での表示となっています。  
⑤は、資金不足がなく、数値が入らないことから「—」での表示となっています。

- ①実質赤字比率 普通会計において「歳入額から歳出額を差し引いた額」を標準財政規模で割った比率で、赤字の度合いを示します。坂城町は黒字のため数値は入りません。  
※普通会計＝一般会計＋特別会計のうち普通会計に相当する会計(工業地域開発事業特別会計)
- ②連結実質赤字比率 普通会計とすべての特別会計を含め、地方公共団体全体としての赤字度合を示します。坂城町は黒字のため数値は入りません。
- ③実質公債費比率 公債費負担の重さを示す指標で、過去3ヶ年の平均値で表します。算出にあたっては、地方債の元利償還金のほか、一般会計から下水道事業特別会計や葛尾組合など一部事務組合の元利償還金に対する繰出金、負担金なども自治体の借金返済額に含めています。
- ④将来負担比率 一般会計の地方債残高のほか、下水道事業特別会計や一部事務組合、広域連合、土地開発公社に対する債務保証も含めた「自治体が背負っている実質的な債務」を標準財政規模で割った比率で将来的な負担の重さを示します。標準的な年間収入の何年分の債務があるかというイメージになっています。
- ⑤資金不足比率(下水道事業) 公営企業ごとに事業活動に必要な資金の過不足を示す指標です。町の下水道事業は、資金が充足されているため数値は入りません。

※令和3年度決算の詳細については、主要施策の成果及び実績報告書等として町ホームページにも掲載しています。